

# 高崎市(首都圏ブロック)

【2期 計画期間 平成26年4月～32年3月】

江戸～ : 中山道の整備とともに街道随一の宿場町として繁栄

近代～ : 東京と鉄道で結ばれたことで商業集積が向上、全国有数の交通の要衝として発展

～現在 : 人口約 37.5万人、面積約460 km<sup>2</sup>の中核市で、「音楽のある街」として全国に認知

## 【1期計画の概要】

○高崎駅周辺を商業と交通機能が集積するゾーン、  
J T跡地周辺を行政・医療・文化施設が集積する  
ゾーンとして核を形成し、両ゾーンを結ぶ商店街の  
イベントや魅力ある個店により回遊と賑わいを創出。  
(計画期間：平成20年11月～26年3月)

## 【中心市街地の変化】

○高崎駅東口拠点開発(大型店・デッキ等)と新図書館・医療保健センターの建設により、高崎駅を中心に駅東西が一体的となり、駅一円において新たな人の流れを創出。

○土地区画整理事業や市街地再開発事業等の都市基盤整備の進捗により、民間投資が喚起され、マンション建設等が進み、人口は増加傾向。

○一方で、歩行者・自転車通行量は大幅に減少するなど、まちなかの回遊性や魅力の向上が課題。

## 【目指す中心市街地像】

「高崎の活力と新しい文化を創造・発信する“賑わい・交流・文化都心”」

## 【1期計画の目標指標】

目標	指標	基準値(H19)	目標値(H25)	最新値(H24)
高崎都市圏の地域活性化を牽引する、経済活力満ちたまち	小売業年間商品販売額	970億円	1,200億円	1,172億円(H23)
市民の出会いと交流の舞台となる、賑わいあふれるまち	歩行者・自転車通行量(休日・6地点)	22,400人(H18)	27,500人	14,636人
音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち	文化施設利用者数	663,800人/年	704,300人/年	612,251人/年

## 【2期計画の目標指標】

目標	指標	基準値(H24)	目標値(H31)
市民・まちなか居住者・広域来訪者が楽しく回遊できるまち ～拠点・回遊性の向上～	歩行者・自転車通行量(休日・14地点) <span style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">地点追加</span>	101,411人	108,500人
高い集客力を生かした経済活力にあふれるまち ～活気あふれるまちの構築～	小売業年間商品販売額	1,172億円(H23)	1,375億円
音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち ～文化を育て、羽ばたかせるまち～	文化施設利用者数 <span style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">施設追加</span>	612,251人/年	1,070,770人/年

市民・まちなか居住者・広域来訪者が  
楽しく回遊できるまち

高い集客力を生かした経済活力にあふれるまち

音楽を中心とした“高崎文化”を  
創造・発信するまち

### 【主要事業】

- ・おもてなし事業
- ・高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業
- ・高崎まちなかオープンカフェ推進事業
- ・高崎公園・烏川緑地間人道橋整備事業

など

### 【主要事業】

- ・都市集客施設整備事業  
(高崎文化芸術センター整備事業、高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業(商業・オフィス機能))
- ・新体育館建設事業
- ・群馬県コンベンション施設整備事業

など

### 【主要事業】

- ・高崎文化芸術センター整備事業(再掲)
- ・既存イベントの充実  
(群馬交響楽団定期演奏会、高崎音楽祭、高崎マーチングフェスティバル、たかさき能、高崎映画祭 など)
- ・まちなか音楽活動助成事業

など

# 第2期 高崎市中心市街地活性化基本計画の事業概要

市民・まちなか居住者・広域来訪者が  
楽しく回遊できるまち

## ①おもてなし事業

中心市街地活性化協議会のマネジメントにより、広域圏からの来訪者を中心市街地全体へ誘引するための施策を実施

おもてなし事業
音楽関連イベントと商店街の販売促進連携
商店街やまちなかの情報発信
音楽関係団体やアーティストへ活動の場の提供と育成を行う高崎おとまちプロジェクト
オープンカフェや飲食イベントなどの連携
市内循環バスと商店街の連携
大型店と商店街の連携

## ②高崎まちなかオープンカフェ推進事業

商店街を中心に、歩道上のオープンカフェ設置を可能とする道路占用許可の特例制度を活用し、市民の憩いの場とまちの賑わいを創出  
(4～11月のみ)



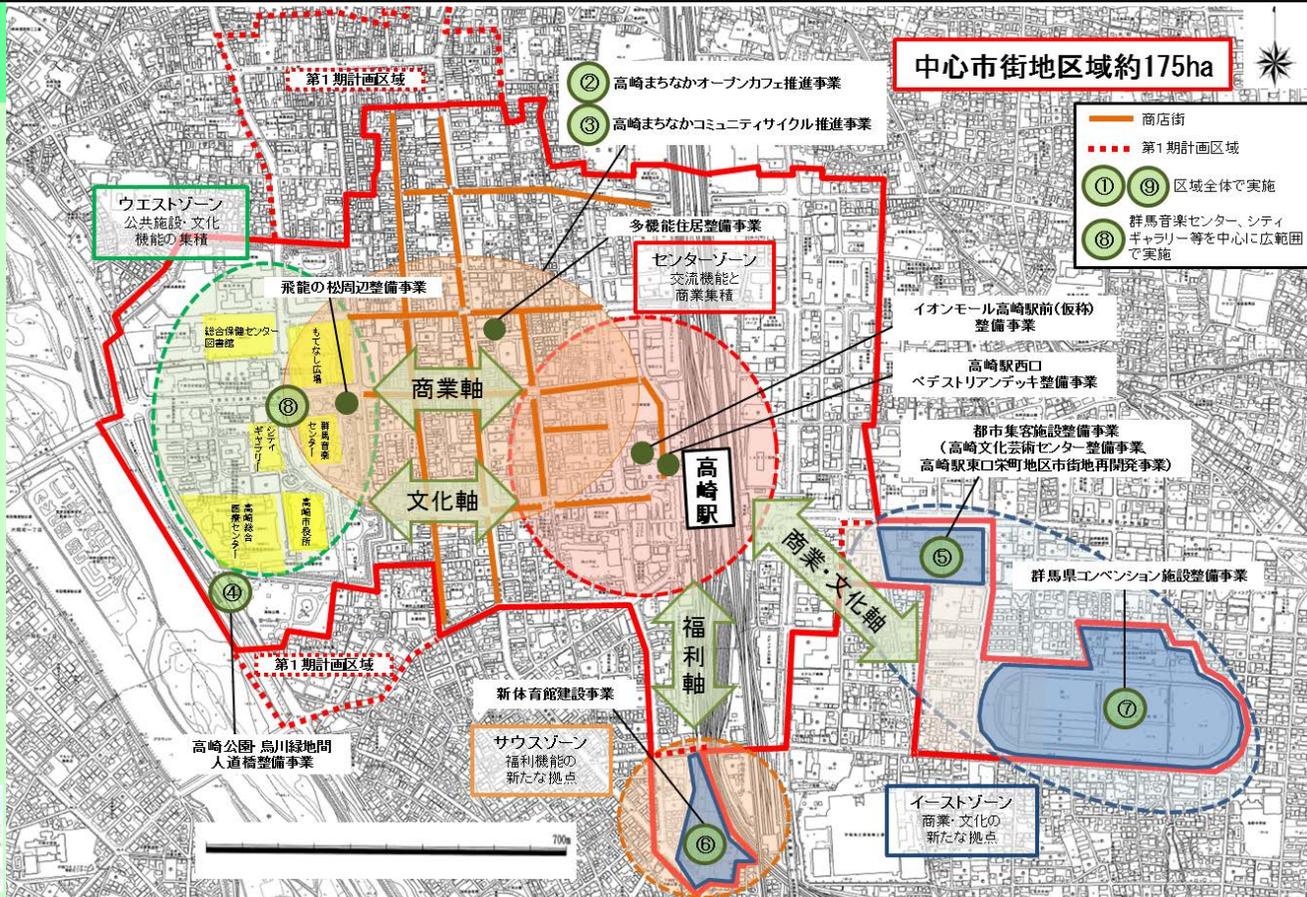
## ③高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業

観光や買い物を楽しんでもらうため、高崎駅西口を中心に自由に乗降できる無料のコミュニティサイクル(愛称:高チャリ)を導入し、回遊性を向上



## ④高崎公園・烏川緑地間人道橋整備事業

高崎公園と烏川緑地を結ぶ人道橋を整備し、都心部と水辺空間を一体的に回遊できるルートを確認



高い集客力を生かした経済活力にあふれるまち

## ⑤都市集客施設整備事業

(高崎文化芸術センター整備事業、高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業)  
東エリアに音楽ホールを中心とした「高崎文化芸術ホール」、西エリアに商業・オフィス機能を配置した集客施設を整備



## ⑥新体育館建設事業

市民スポーツの振興に加え、世界・全国レベルの大会やプロスポーツも開催可能な観客席3,000人規模の新体育館を整備



## ⑦群馬県コンベンション施設整備事業

平成16年廃止の高崎競馬場跡地に大規模展示場、国際会議に対応する会議室等を備えたコンベンション施設を整備



音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち

## ⑧既存イベントの充実

- ・群馬交響楽団定期演奏会
- ・高崎音楽祭(クラシックやジャズなど、あらゆる音楽が集結するイベント)
- ・高崎マーチングフェスティバル(市内のスクールバンドや国内外の有力バンドによる市内パレードを中心としたイベント)
- ・高崎映画祭(開催期間中に80本以上の映画を上映し、作品賞・監督賞などの授賞式を実施)

## ⑨まちなか音楽活動助成事業

街かどや商店などにおいて週末を中心に日常的に行われる音楽活動を支援



広域圏から交流人口を呼び込む3つの集客施設を戦略的に高崎駅徒歩圏に整備